

平子町北地内市有地活用方法検討報告書をご覧になる前に

対象地の比較的平らな場所には、旧名古屋市保育短期大学や旧名古屋市立緑ヶ丘小中学校・若松寮として使用されていた多くの廃校舎等の既存建物が全て残されています。(図：既存建物の立地状況)

既存建物のほとんどは、激しい老朽化や耐震強度が不足しており、そのまま活用できる状態ではありません。当該敷地の活用にあたっては、これら建物の撤去解体や大規模な改修が必要になります。

また、当該敷地自体が傾斜面地であり、まとまった平地がそれほど多くありません。今ある丘や森を切り崩して平地を造成すれば、活用できる範囲や活用内容の幅は広がる反面、多額の造成等の費用が必要になります。

ご覧いただくイメージ図には、大規模な造成や開発を伴う活用や、今ある地形をいかした活用など、多様な活用案が示されています。これらは市が実現性などを精査したものではありません。有識者、専門家から意見聴取した内容を可視化したイメージである事をご理解ください。

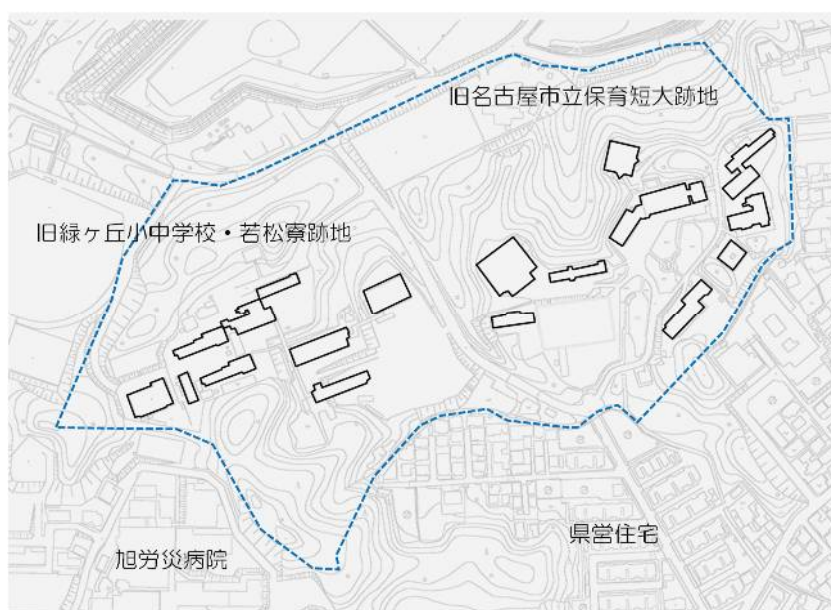


図 既存建物の立地状況